

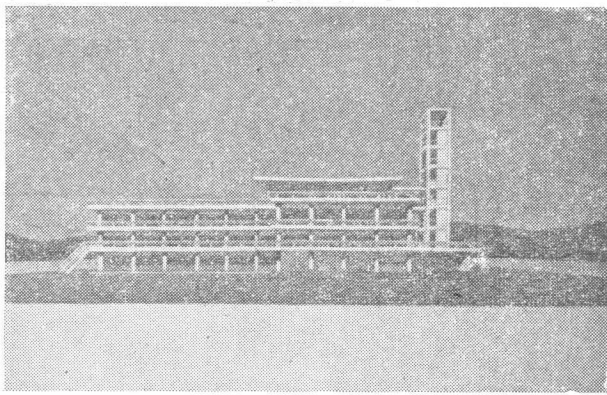
市のシンボル新庁舎建設に着工

中郵經濟園屈指の要衝として榮えゆく美濃加茂市を象徵する市庁舎三階建の近代的ビルの構造　配置等が二月一七日の議員總會で決定この設計を全國で有名な溝口建設事務所に委託され、設計をまつて四月入札着工の運びとなる。既に敷地である旧土木出張所は取こわし移築され、分室は競売されるなど敷地の整備は進められている。以下その概要を眺めると、

完成予定庁舎構造配置決まる

田園都市としての基礎を確立するのなかで、画期的な飛躍をなしている諸事業の遂行のために新庁舎の建てる新都心にふさわしい市勢第二段設は俊まわじになっていたが、今階としての新庁舎の建設が要望と着することになった。

建設位置である旧土木出張所は、既に取つたが、図書館、青年婦



新庁舎透視図

進められ、いよいよ三月末に入札着することになった。

建設位置である旧土木出張所は既に取こわされて図書館、青年婦人センターとして木曾川畔産業観光館北隣に建築することになり、既存の加茂土木出張所を移築し木造瓦葺、増建一部平屋建、建坪四八、八七坪延坪三八、八九坪で一階に会議室、事務室、調理室、一階に図書館室とすることになり既に旧土木出張所の取こわしも終り、今春中に竣工、図書館、青年婦人センターとして又文化振興の拠点となるものとしている。

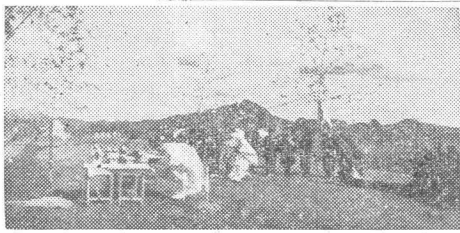
東中
学建
築進
む

中學校教育の昂揚を計るために古
 井、山之上一、下米田を統合した東
 中学の新築工事は、十柱による指
 名競争入札の結果、東京に本社を
 もつ仙台一名呂屋、大阪、広島に
 支社をもつ日産建設と請負契約を
 締結した。主体工事費三千七百九
 十五万円で、鉄筋コンクリート二階
 建、十一教室、特別教室建坪七〇
 三坪に着手することになった。
 金事業費の内昭和三十四年度分
 二千三百九十八万円（国庫補助五
 百九十三万円）、三十五年度の二
 千五百九万円（国庫補助千四十万
 円）である。

年中に完成目標としている。
 現在各校の生徒数は古井五八四
 名、山之上一五四名、下米田八
 一名の計一〇一九名である。



図 5-10 東中完成図 (下) 祭鎮地



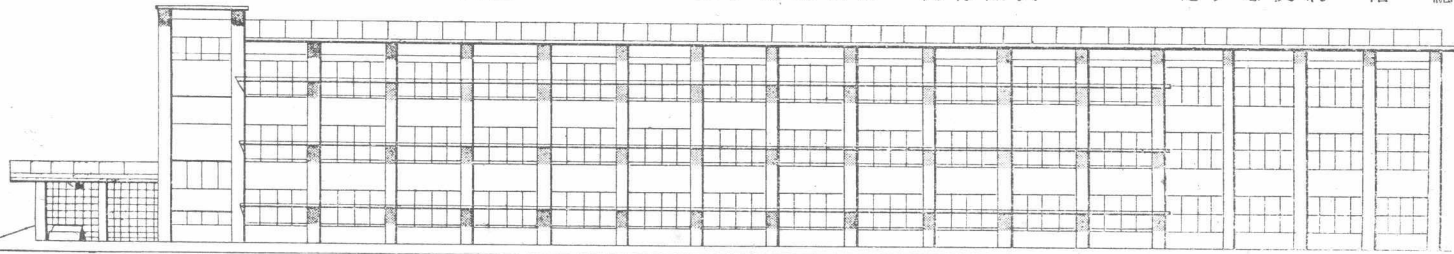
(上)地鎮祭 (下)東中学完成図

農林高校の施設充実

千四百八十萬円である。

二月一日渡辺市長以下各中学校生徒代表など関係者が参列して地鎮祭が行われ、いよいよ建設の第一歩を踏み出し、現在工事は尤大なる資材の搬入を始め順調に進んでおり、この第一期工事は五月三十一日竣工予定で、第二期工事を本年度の定員が百名に増加し、實質的

本地域の高等学校教育の内農林商校の建設については、近隣町村の協力のもとに建設委員会を中心に進められて、今年度より益田、関、瑞浪の各県立高校の農業科が廃止されたのに反し加茂高校に新に林業科が加えられ、三十五



救農土木 川浦川筋等の一
完全改良復旧 天災融資等一

復興と民力の増進を計る
災害復興その後

昨年の集中豪雨、伊勢湾台風の災害復旧について改良工事による完全施設等への復旧を始め、災害融資も殆ど終了し、今後民力の蓄積と増進を計ることになった。

救農土木

市の指定された市の財産認定による
県の内定を受け三月一日各単位農
協より百六十五千二百二十一万
を融資した。又住家等が倒壊した
農家に融資された自作農維持創設
資金三百件三千九百五十五万円と

校、加茂高の激しん地の指定により高率補助を受けたのを始め、その他の市内小中学校復旧を含め四百七十万円（内国庫補助三百二十二万）が、この事業に充てられた。

円、中川浦橋五三万円、糠洞橋五
四万円。
【市事業】折戸橋五十万円、喜
之巢橋四七万円。
【県工事分】竹代橋百五十万円、
猿飛橋七十三万円。
以上いづれも水久喜に完全復旧

民生課、保険課、社会福祉事務所
は太田公民館に移転し、三月一
日より三ヶ月間業務し、その後は
業観光会館に移転する予定です。
電話は前の通り市役所を呼び出

救護土木事業の適用を受け、信友
為岡、巾上、金谷の四地区の農道
七箇、一七米及び市橋、稲延、
荻、川合、別所の五地区の水路七
六八米等合計九地区、百萬元の救
護事業が進められている。又特に
被害の多かった三和町が耕地関係
の激じんに指定され九割の国庫
補助を受けるのを始めとして市内
の農地、農業用施設の十六ヶ所三
百七十・五万円に国庫補助を受けて
着手することになった。

【写真下は救護土木事業】

農業関係融資六千三百万円
農村産物の減収により年収が極
めて減少した農家に対する天災救
済法による特別被害激じんに全



二百五十万円等を合計すると、六千三百一十七万円が農村に融資され復興に資されることになった。

蛸屋小中学校激じん地として復旧

市単独の復旧工事の外、国の補助を受けるものとして蛸屋小中学校

又山之土保育園が、十九元五
下米田十六万一千円、加茂野保護
園十二万三千円、合計四十八
千円を復旧される。内國庫補助
十万二千円。

川浦川水系の橋梁復旧
進む

集中豪雨で特に被害の甚大な三
和町の土木災害は、農工業、市工
事共に激しく地に内定し、高率
助に共て復旧される予定である
特に川浦川水系の流失した橋梁
殆ど永久橋に改良完全復旧され
ることになった。現在決定してい
るのは、

【國庫補助事業】納古口橋四五

農耕作業用自動車
には車両番号標を
農耕作業用群うん機、普及増加
していますが、農用トラクタなど
取付けた農耕作業用自動車は陸
事務所に届出て車両番号標の交
をうけないと道路法違反で罰則
があります。現在所有者は未届の
又は今後購入される方は販売証
書、原動機に附着してある型式
記番号を記載し印鑑を持参して
皇陸運事務所に届出下さい。

市民役所室の執務は太
田公民館で
新庁舎の建築のため市民役所分室

福祉年金の支払始まる

二月二十四日午後、時より太田公民館において福祉年金証書の交付式があり、県より内定のあつた老令年金には木村すゑさん（太田）第八・三三件、障害年金は山田晋市さん（太田）零五五件、母子年金は藤吉みさおさん（加茂野）零五七件の合計九七件で当日は各町代

当者二五〇名が参加し、渡辺市長より真新しい証書が授与された。第一回の支払は、三月三日より各指定郵便局で開始され、昨年十

一、一月千円、障害千五百円、母子
家庭は千円と子供一人以上の場合金
一、二百円の四カ月分が支給われわ
該記者はこの恵典に大喜びである

式古抄
受王

「異動は直ぐ連絡を」
被保険者の家族のうち、出生、死亡、転出された、又は他の社会保険加入されたとき又はなくなつたとき被保険者証を添へて届出なければならぬ。転居して被保険者が全家族他の市町村に転居する場合は資格喪失届に転居届を添へて連絡所または保険関係に提出下さい。

四月より可児えの市外
通話が即時通話に
可児（久々利を含む）にかける
料金は「二〇八」を廻します（即
ち出かける係が待ちながら着費を云つてそ
ろゝお待ちにならば直ちにとな
ります）。料金は一通話十四円に
ります。

増えた国民健康保険の利用

昨年四月から国民健康保険事業の
全域実施がされてから現在の被保
険者は一六、〇七六で、他の社会
保険加入者を加えると、市民の約
九割が健康保険に加入しお互の病

昨年の十二月現在の国保事業の概
 要は次の通りである。

才入	四、四〇〇千円
国庫補助金	五、二五〇千円
保険料	
行費入金	

2、昨年の台風により住家が半壊程度以上又はこれと同程度の被害を受けたもの。

一、市内に住所または勤務場所を有するもの、

二、毎月収入の合計から扶養親族一人につき千円を控除した額が当該住宅家賃の六倍相当額

氣、僕我等不時の災難にそなえてゐる。現在保険料収入は月平均五八万円で加入者の理解ある協力により、収納成績も一月末日現在九七％という殆んど完納に近い好成绩である。毎月平均百万円の医療費の支払も順調に行うことができ、堅実な運営ができる状況である。

計	一〇、五七三円
才出	
医療費	八、七五〇円
助産及葬祭給付費	八四〇円
役所費	一、一七三円
その他	二七三円
計	一〇、二七九円

以上の利用件数は二一、〇九五件
 で加入者一人が昨年四月より十二

納税完納月間

市税の完納によつて財政をよくし、市政を推進するよう二月を市税完納月間として運動が進められています。よりよい市を作り市民の福祉を増進するようお互に市税の完納を致しましょう。

をこゝろ三万二千圓以下の収入があつて独立の生計を営み家賃及び敷金(三カ月分)を充ち、
 三、現に同居しまたは同居しようとする親族があること。
 四、現に住宅に團練している者。詳しくは民生課にお問合せ下さい。

市営住宅入居希望者は四月九日まで

富住宅に若し空屋になつた折の
店予定者を次の通り募集するの
、希望者は四月一日より同九日
で市役所民生課にて申込みの手
続を要する。

入居資格
市内に住所または勤務場所を有するもの。
毎月収入の合計から扶養親族一人につき千円を控除した額が当該住宅家賃の六倍相当額

をこゝろ三万二千円以下の収入があつて独立の生計を営み家賃及び敷金(三カ月分)を払ふ能力を有する者。

現に同居しまたは同居しようとする親族があること。

現に住宅に團聚している者。

くは民生課にお問合せ下さい。